



中央労働災害防止協会

第1回 タイ日系企業 安全大会

2025 Thailand Japan Work Safety Days

共に学び、共に築こう、
日タイ両国の安全衛生の
連携とシナジー



現地参加者用 プログラム集 (日本語版)

2025年12/18木・19金 SD Avenue Hotel (バンコク)

同時開催

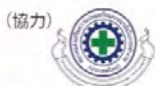
タイ・日本安全衛生保護具等 展示会 2025 ※入場無料



詳細はHPから▲



中央労働災害防止協会



タイ労働安全衛生促進協会



在タイ日本大使館



タイ労働安全衛生環境推進機構 タマサート大学公衆衛生学部



THAMMASAT UNIVERSITY
FACULTY OF PUBLIC HEALTH



中災防の図書・用品で

日本の安全衛生を学ぼう！



ลวดอุบัติเหตุในสถานที่ทำงาน ด้วยการชี้มือ ปากย้ำ

ป้องกันอุบัติเหตุจากความผิดพลาดของมนุษย์



สมาคมความปลอดภัยและสุขภาพอนามัย
ในอุตสาหกรรม ประเทศไทย
(Japan Industrial Safety and Health Association)

タイ語版
指差し呼称で
安全職場

21640 定価495円



指差し呼称を学習するのに最適
な小冊子『指差し呼称で安全職
場』のタイ語版！ タイの日系
企業や日本で一緒に働くタイの
労働者にも最適。



日本語版
指差し呼称で
安全職場

24099 定価275円

日本で働く方のための
イラストで学ぶ！
安全衛生
漢字ドリル

27138 定価880円

外国人労働者が職場で知っておい
てほしい漢字22字を収録した学習
用ドリル。



初めて日本で働く方のための
安全・健康に仕事をする 2

21603 定価550円

日本語試験を受けて来日した外国人
労働者向けの新入者教育用小冊子。



10カ国語対訳単語帳
安全衛生パスポート

21608 定価880円

現場の表示標識や安全衛生教育で使
われる用語100語を、ひらがな・ローマ
字と10カ国語で紹介。



用品



貼ってはがせるステッカー
(衝突注意)
44253 4枚入 880円

お求めは

中央労働災害防止協会
出版事業部

✉ tjwsd@jisha.or.jp

🌐 <https://shop.jisha.or.jp/>

📍 海外発送には対応していません。

安全衛生ポスター 各330円

安全衛生の基本をわかりやすく解説

安全第一 世界に誇る
“安全”を目指そう 31889

しっかり予防して
転倒災害を防ごう！ 31916

キケンを感じたら
止める・呼ぶ・待つ 31932





【開催要領】

第1回 タイ日系企業安全大会

2025 Thailand-Japan Work Safety Days

中央労働災害防止協会では、SHAWPAT（タイ労働安全衛生促進協会）の協力および在タイ日本国大使館等の後援のもと、タイにおける日系企業の安全衛生活動の支援を中心に、作業者への安全衛生意識の向上や、安全衛生担当者同士のネットワークの構築と、近年、国際的に要請が高まる「ビジネスと人権」等、グローバルな安全衛生に関する情報の還流を目的としバンコクにて安全大会を開催します。

❖ 名称／第1回タイ日系企業安全大会(日本公式名称)

1st Thailand-Japan Work Safety Days(タイ公式名称)

❖ 会期／現地：令和7年12月18日(木)～19日(金)＜2日間＞(※時間はタイ現地時間)

12月18日(木) 8:45～16:35(開場8:00～、開会式8:50～)

(※オプションのネットワーク交流会 17:00～19:00)

12月19日(金) 8:45～16:35

❖ 会場／SD Avenueホテル

※オンライン配信…ライブでの配信(タイ語と日本語 2チャンネル)

※開催後のオンデマンド配信は行いません

❖ 主催／中央労働災害防止協会

❖ 協力／SHAWPAT

❖ 後援／在タイ日本国大使館

T-OSH(タイ労働安全衛生環境推進機構)

タマサート大学公衆衛生学部

公益財団法人東京都中小企業振興公社

地方独立行政法人 東京都立産業技術研究センター

❖ 大会テーマ／共に学び、共に築こう、日タイ両国の安全衛生の連携とシナジー

❖ 参加対象者／タイにおける日系企業の産業安全、労働衛生の関係者、日本の親会社等

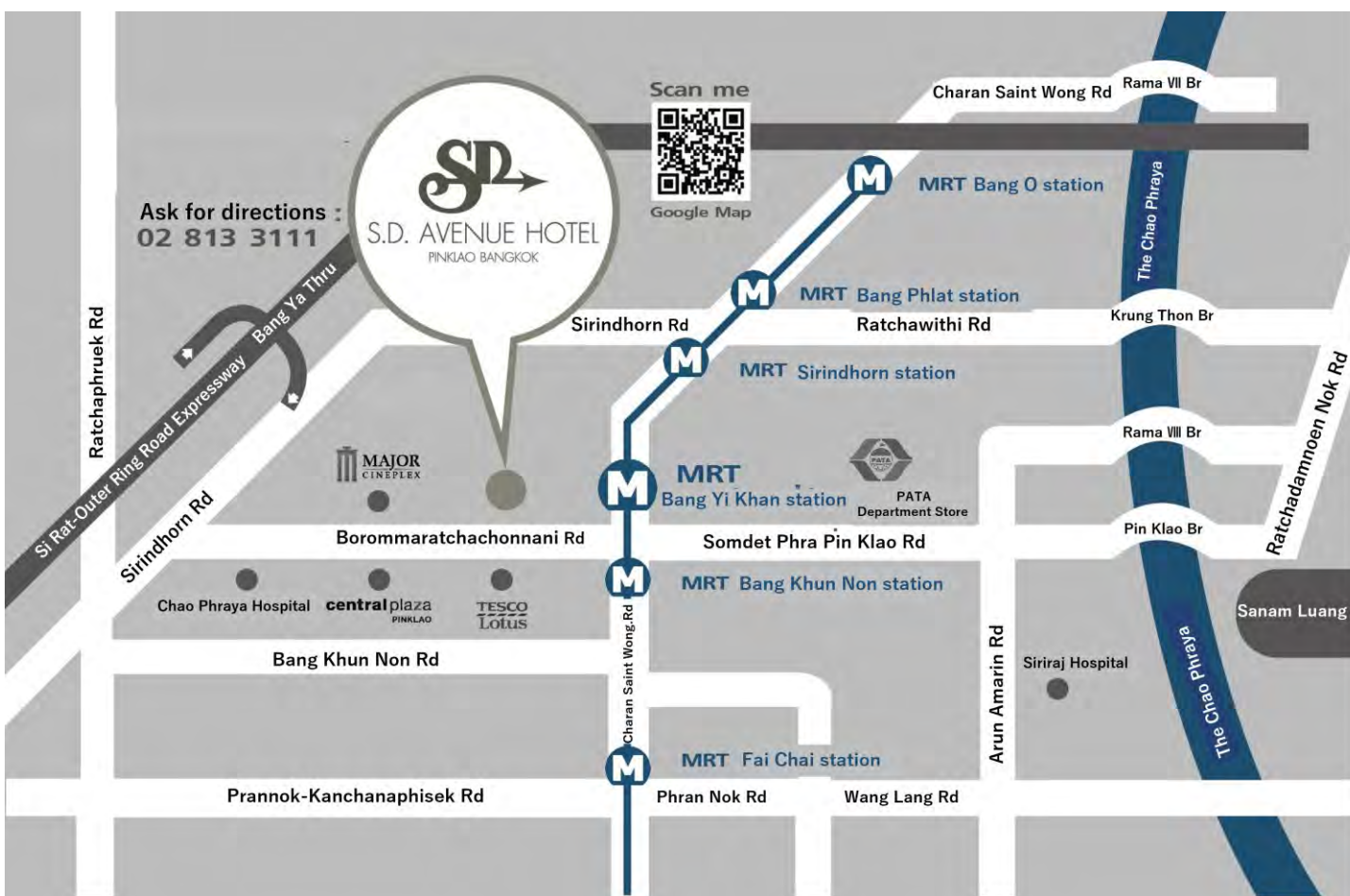
❖ 参加者数／300人(招待者等を含む)

❖ 参加費／日本からの申込：14000円 ネットワーク交流会オプション4000円

タイでの申込：4000THB 交流会費用込み(いずれも現地の税を含む)

❖ 同時開催／タイ・日本安全衛生保護具等展示会

会場地図



会場・住所・電話

会場 SDアベニューホテル
3階 Amarin Hall (タイ日系企業安全大会会場)
3階 Pinklao Hall (タイ・日本安全衛生保護具等展示会)

住所 94 Borommarat Chachonnani Road、Bang Bamru Bang Phlat、
バンコク 10700、タイランド

電話 02-813-3111

開催事務局

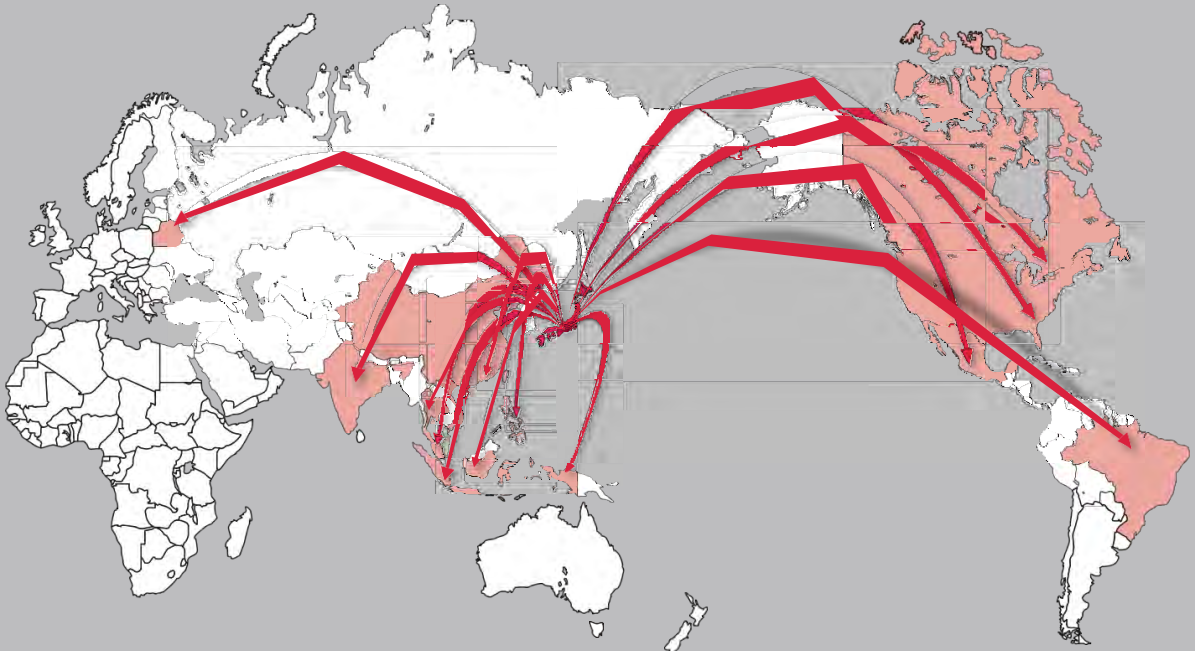
中央労働災害防止協会 技術支援部 国際課
担当：高井、安藤、住 (日本語対応)
J.タナパット (タイ語対応)
〒108-0014 東京都港区芝5丁目35-2
電話：03 (3452) 6297
E-mail: tjwsd@jisha.or.jp

大会後援機関・団体

在タイ日本国大使館
タイ労働安全衛生環境推進機構 (T-OSH)
タマサート大学公衆衛生学部
(公財) 東京都中小企業振興公社
(地独) 東京都立産業技術研究センター

We want to eliminate **Workplace Accidents.**

The desire for safety is
UNIVERSAL



ASIA CREATE'S
Safety simulators are used
Throughout the world .

Brazil	Malaysia
Canada	Mexico
China	Philippines
Hungary	Singapore
HongKong	Taiwan
India	Thailand
Indonesia	USA
Japan	Vietnam

**What is Asia Create's
"Safety Simulators"?**

ACSEL® SERIES

 YouTube



This device is for learning about on-site dangers that cannot be conveyed through classroom learning alone. It can be used to educate and guide employees on safety measures.





Be sure, be safe

Gas Detection & Alarm Systems

ABOUT US

新コスモス電機株式会社は、1960年の創業以来、独自のセンサ技術を継続的に開発し、多様化する安全ニーズに応える製品とインベションを提供してまいりました。私たちは、専門的なコンサルティングから機器の設置、メンテナンスに至るまで、ワンストップでの包括的なサービスを展開しております。お客様の安全・安心を守るこそが、私たちの使命です。

"ขจัดอุบัติเหตุจากแก๊สให้หมดไปทั่วโลก"

(Eliminating Gas Accidents Around The World)"

私たちは65年以上にわたる経験を活かし、安全機器メーカーとして、先進的な技術の開発に取り組んできました。革新的で高性能なガス検知器の研究・開発・製造を通じて、世界中の人々にとって安全で持続可能な環境の実現に貢献しています。



WHY CHOOSE US?

- ✓ 世界をリードするセンサ技術の開発・製造メーカー
- ✓ 安全分野のバイオニアかつスペシャリスト
- ✓ 日本国内におけるガス漏れ検知器市場のトップブランド



新コスモス電機は、**世界最大規模**のガスセンサ研究・開発・生産拠点 **COSMOS SENSOR CENTER** にて、ガスセンサに関する基礎研究から製造まで一貫して行っています



OUR PRODUCTS

定置型ガス検知器



携帯型ガス検知器



ニオイセンサ



グリース・オイル鉄粉濃度計



タイムテーブル

1日目(12/18)
会場:Amarin Hall

2日目(12/19)
会場:Amarin Hall

展示(2日間)
会場:Pinklao Hall

8:00	開場(受付:8:00~)	開場(受付:8:00~)	開場(8:00~) (参加無料)
9:00	アトラクション(和太鼓) 開会式	事例発表⑥大林組	出展企業(50音順)
	基調講演① 横浜国立大学 三宅 淳巳 氏	基調講演③ 失敗学会 飯野 謙次 氏	アイトス(株)
10:00	コーヒープレイク	事例発表⑦ Daifuku (Thailand)	アジアクリエイト(株)
	基調講演② スラナリー工科大学 Dr. Kiattisak Batsungnoen	コーヒープレイク	クラボウ
11:00	事例発表① Tsubakimoto Automotive (Thailand)	特別報告① タイ労働安全衛生促進協会Dr. Chaiyuth Chavalitnithikul 特別報告②中央労働災害防止協会 杉山 大地 特別報告③中央労働災害防止協会 亀井 隆史	興研(株)
12:00	昼食	事例発表⑧ 日本自動車工業会	光明理化学工業(株)
	事例発表② Canon Hi-Tech (Thailand)	一般報告 ㈱日本・精神技術研究所 内田 桃人 氏	(株)重松製作所
13:00	事例発表③ Roland Digital Group (Thailand)	事例発表⑨ Teijin Cord (Thailand)	(株)シモン
	特別発表① 厚生労働省 奥村 英輝 氏	事例発表⑩ Thai Nippon Steel Engineering & Construction	首都高メンテナンス西東京(株)
14:00	事例発表④ Thai Tohken Thermo	特別発表④ タマサート大学	新コスモス電機(株)
	特別発表② 産業医科大学 江口 尚 氏	コーヒープレイク	タマサート大学公衆衛生学部
15:00	コーヒープレイク	【パネルディスカッション】 モデレーター 厚生労働省 奥村 英輝 氏 パネリスト① 産業医科大学 江口 尚 氏 パネリスト② ILO Mr.Phattaraset Ardchawuthikulawong パネリスト③ タマサート大学 Dr.Chalermchai Chaikittiporn	(株)積木製作
	事例発表⑤ Electro Ceramics (Thailand)		(公財)東京都中小企業振興公社 タイ事務所
16:00	特別発表③ 長岡技術科学大学大学院 北條 理恵子氏		(地独)東京都立産業技術研究センター バンコク支所
17:00	(※オプション) ネットワーキング交流会 (タイ古典音楽と参加者交流)		(株)日本・精神技術研究所
18:00			パイフォニクス(株)
			ブプルアジア
			理研計器(株)

発表資料閲覧のご案内

大会プログラム集及び発表資料は以下の中災防のホームページで閲覧が可能です。発表資料は大会参加者のみが閲覧できますが、事前にダウンロードいただくことを推奨します。閲覧の際は、参加証に記載のパスワードを入力下さい。



https://www.jisha.or.jp/international/conference/tjwsd/program_list.html

中災防 中央労働災害防止協会

> 中災防について > 全国事業拠点 > 採用情報 > Q&A

お問い合わせ

標準 拡大

ISO45001

賛助会員ページ

入会案内

東京・大阪安全衛生教育センター

セミナー・講師派遣

技術サービス

図書・用品販売

中小・第三次産業

大会・緑十字展

情報提供

国際関係

大会プログラム集

ホーム > 国際関係 > 国際会議等案内 > タイ日系企業安全大会 (Thailand-Japan Work Safety Days) > 大会プログラム集

プログラム・発表資料

大会プログラム集 (PDF) は下記よりダウンロードの上、閲覧

大会プログラム集 (現地参加者用・オンライン参加者用) (日本語・タイ語) はこちらより選択下さい。

(日本語)

大会プログラム集 (現地参加者用) (準備中)

大会プログラム集 (オンライン参加者用) (準備中)

(タイ語)

大会プログラム集 (現地参加者用) (準備中)

大会プログラム集 (オンライン参加者用) (準備中)

12/18 (木)	発表者	発表タイトルおよび概要	※発表資料 (準備中)
8:00~	開場		
8:00~	参加受付		
8:50~8:55	開会宣言／黙とう		
8:55~9:05	アトラクション		
9:05~9:30 開会式	開会挨拶 中央労働災害防止協会 理事長 竹越 徹 来賓挨拶 タイ日本大使館 大使 大鷹 正人 氏 他 来賓紹介		
9:35~ 10:20 基調講演	横浜国立大学 総合学術高等研究 上席特別教授 / 学長特任補佐 / 名誉教授 三宅 淳巳 氏	「企業の安全管理 事故から学ぶリスクマネジメント」 社会情勢が劇的に変化し先行きが見通せない現在、企業は多岐にわたる安全管理が不可欠である。また、一度重大事故や災害が発生するとその影響は当該の組織のみならず地域社会や市民生活にも及ぶため、組織の強み、弱みを適切に分析するとともに、万一の事態に備えたシナリオ想定と予防ならびに減災に向けた十分な事前評価と対策が必須である。本講演では、過去の事故事例から得られた教訓を基に、組織のリスクマネジメントならびに安全文化醸成のための基本的考え方について紹介する。	<div> 日本語 </div> <div> タイ語 </div>

発表資料 (日本語・タイ語) はこちらより選択下さい。



SHAWPAT

SAFETY AND HEALTH AT WORK PROMOTION ASSOCIATION (THAILAND) จำกัด
สมาคมส่งเสริมความปลอดภัยและอนามัยในการทำงาน (ประเทศไทย) จำกัด

38th
ANNIVERSARY

**สมาคมส่งเสริมความปลอดภัยและอนามัยในการทำงาน (ประเทศไทย) ในพระราชูปถัมภ์
สมเด็จพระกนิษฐาธิราชเจ้า กรมสมเด็จพระเทพรัตนราชสุดาฯ สยามบรมราชกุมารี**



**อบรมความปลอดภัย
และ อาชีวอนามัย**



**ตรวจวัด และ
ประเมินสภาพแวดล้อม
ในการทำงาน**



**ที่ปรึกษา และ
ตรวจรับรอง
ความปลอดภัย**



**กิจกรรมส่งเสริม
ความปลอดภัย**



SHAWPAT



@SHAWPAT



SHAWPAT_CH



www.showpat.or.th



02 884 1852



中央労働災害防止協会（中災防）は、事業主の自主的な労働災害防止活動の促進を通じて、安全衛生の向上を図り、労働災害を防止することを目的として昭和39年（1964年）に設立されました。以来、その公益的使命を達成すべく、安全で健康・快適な職場づくりを支援するため、各種の事業を積極的に展開しています。



開会式プログラム

12月18日(木) 8:50~9:30

会場:3階 Amarin Hall

- | | |
|-----------|------------------------|
| 8:00~ | 開場(受付) |
| 8:45~8:50 | 避難誘導ビデオの上映 |
| 8:50~8:55 | シリキット王太后へ黙とう(全員起立) |
| | 開会宣言 |
| | タイ労働安全衛生促進協会(SHAWPAT) |
| | 理事長 Prasopchai Yuvaves |
| 8:55~9:05 | アトラクション(和太鼓による演奏) |
| 9:05~9:30 | 開会式 |

開会の辞 中央労働災害防止協会 理事長 竹越 徹

来賓の辞 在タイ日本国大使館 大使 大鷹 正人 様

来賓の辞 タイ労働省 労働保護福祉局(DPLW) 局長
Saroach Khomkhai様

来賓の辞 タイ労働安全衛生環境推進機構(T-OSH) 理事長
Nuntachai Panyasurairiddhi 様

来賓 厚生労働省 大臣官房 国際労働交渉官 奥村 英輝 様

来賓 ILO(国際労働機関) アジア太平洋地域総局
Chief Technical Advisor and Overall Coordinator 武部 憲和 様

来賓 ジェトロ・バンコク事務所 所長 阿部 一郎 様

1日目【12月18日(木)】スケジュール及び発表概要



基調講演①

9:35～10:20

「企業の安全管理 事故から学ぶリスクマネジメント」

横浜国立大学 総合学術高等研究院

上席特別教授 / 学長特任補佐 / 名誉教授 三宅 淳巳 氏

社会情勢が劇的に変化し先行きが見通せない現在、企業は多岐にわたる安全管理が不可欠である。また、一度重大事故や災害が発生するとその影響は当該の組織のみならず地域社会や市民生活にも及ぶため、組織の強み、弱みを適切に分析するとともに、万一の事態に備えたシナリオ想定と予防ならびに減災に向けた十分な事前評価と対策が必須である。本講演では、過去の事故事例から得られた教訓を基に、組織のリスクマネジメントならびに安全文化醸成のための基本的考え方について紹介する。

----- コーヒーブレイク -----
(10:20～10:45)



基調講演② 10:45～11:30

「ナノテクノロジーと先端材料による労働安全衛生」

スラナリー工科大学 公衆衛生学術院 助教

Dr. Kiattisak Batsungnoen



ナノテクノロジーと先端材料は、建設と環境工学に大きな利益をもたらしている。例えば、光触媒セメントには、大気汚染物質を分解し、都市のスモッグを減少させる二酸化チタンナノ粒子が組み込まれている。しかし、これらのナノ粒子は、微粒子を吸入すると呼吸器系や全身に影響を及ぼす可能性があるため、製造、塗布、解体の段階で労働衛生上のリスクをもたらす可能性がある。同様に、ディーゼル燃焼は、炭素質粒子や金属含有粒子を含む超微細ナノ粒子の主要な発生源であり、これらは発がん性物質として認識されており、曝露した労働者に酸化ストレス、炎症、心血管疾患を引き起こす可能性がある。したがって、包括的なリスク評価、効果的な換気、個人保護具、および作業員訓練を通じて、これらの人工ナノ粒子または偶発的なナノ粒子への作業員の暴露を評価、監視、管理することが不可欠である。持続可能な開発におけるナノテクノロジーと先端材料の利点を実現しながら労働者を保護するためには、予防的な労働安全衛生の枠組みを統合することが重要である。



事例発表 ① 11:35～11:55



Tsubakimoto Automotive (Thailand)
Co., Ltd.

(本社：(株)椿本チエイン)

「TATの5つの安全管理活動」

安全環境課長

Ms. Nongnuch Pangvapee

我が社は安全衛生環境法に基づき社長以下、社員全員が働きやすい環境、安全な職場づくりに努めている。安全第一（Safety first）という会社の安全文化に基いた安全活動について発表する。

- 1.社員全員参加の危険予知訓練やヒヤリハット、5S等の安全活動
- 2.ルール遵守と安全作業の手順書作成
- 3.安全教育活動
- 4.危険をなくす為の現場安全確認活動（Safety patrol）
- 5.危険個所の可視化活動

----- 昼食休憩 -----

(12:00～13:00)



事例発表 ② 13:00～13:20



Canon Hi-Tech (Thailand) Ltd.

(本社：キヤノン(株))

「労災撲滅の取組み」

人事部労働安全衛生課 課長

Ms. Sunan Panongwang

キヤノンハイテクタイランドでは、安全シミュレーション、リスクアセスメント、従業員の気づきやヒヤリハット経験を元にした安全機能の強化など、さまざまな安全活動を実施し、全従業員がこれらの活動に協力し災害撲滅の目標達成を目指している。



事例発表 ③ 13:25～13:45



Roland Digital Group (Thailand) Ltd.

(本社：ローランド ディー.ジー.(株))

「Roland Digital Group (Thailand) Ltd. の安全活動の軌跡と今後について」

President

江間 祐暁 氏

Roland Digital Group (Thailand) では、2012年の工場本稼働以来、安全面を第一優先して会社運営を行ってきた。また、働きやすい環境をつくるため、従業員の意見を取り入れ、衛生面やファシリティ改善にも配慮してきた。今回の発表ではこれまで行ってきた活動・目標達成までの軌跡・今現在の活動・この先の将来目指すべき姿などを事例を含めて紹介する。



特別発表① 13:50～14:10

「タイ日系企業における「ビジネスと人権」の実現に向けて」

厚生労働省 大臣官房 国際労働交渉官 奥村 英輝 氏



企業活動における人権尊重への関心が高まっている。また、グローバル・サプライチェーン上における労働者の権利の確保が重要視されている。タイでは、日系企業が多く操業し多様なビジネス活動を展開しているが、これに当たり、人権尊重の取組を進めていくことが重要である。この人権の中には、本大会のテーマでもある労働者の安全と健康の確保が含まれているが、こうした「ビジネスと人権」について関係者の理解が進むよう、今回説明したい。



事例発表 ④ 14:15～14:35



「タイ現地法人によるゼロ災運動」

品質保証部長 赤松 龍磨 氏

Thai Tohken Thermo Co.,Ltd.

(本社：(株)東研サーモテック)

2014年から本社でスタートしたゼロ災運動をタイ現地法人では2018年から取り組み始めた。タイ人と日本人が切磋琢磨し進めた現場実践型KYT活動の取り組みを以下の内容により、発表する。

1. タイ人と日本人合同の社内ゼロ災研修
2. タイ語でのボードKYT開始
3. 現地社内KYT大会
4. 中災防KYTトレーナー研修に日本人出向者全員受講
5. コロナ禍におけるゼロ災運動
6. タイ人によるKYT実演



特別発表② 14:40～15:00

「働く人々のウェルビーイングの向上のために：日本の経験」

産業医科大学

産業生態科学研究所産業精神保健学 教授 江口 尚 氏

日本企業の海外展開が急速に進む中、進出先においては現地の文化や風土を理解したうえで、日本人スタッフと現地スタッフとの連携を図ることが不可欠である。さらに、現地化の推進も重要であるが、その過程で両者の間にトラブルが生じるケースも増えている。本講演では、日本において“失われた30年”を経て関心が高まりつつある「ウェルビーイング経営」に注目し、その理念を日系企業がタイにおいてどのように活かせるかについて考察する。

----- コーヒーブレイク -----

(15:05～15:45)



Electro Ceramics (Thailand) Co., Ltd.

(本社：日本カーバイド(株))

「機械安全チェックについて」

安全担当者(Safety Officer)
Ms Maythinee Kanthanet

本発表ではElectro Ceramics (Thailand) Co., Ltd.の以下の取り組みを紹介する。

- 機械安全点検の手順
- 機械安全組織および資格
- フォローアップ

特別発表③ 16:15～16:35

「安全・教育に対するウェルビーイングの関わり ー仮設機材をモデルとした実験事例」

長岡技術科学大学大学院システム安全工学専攻
准教授 北條 理恵子氏



SDGs等の世界の潮流の中で、well-beingにも注目が集まっている。Well-beingに関する実践や研究のほとんどは、メンタルヘルスや幸福といった側面に言及している。我々が行った調査・研究では、well-beingが安全や教育、マーケティングといった領域においても、現状把握や改善、対策の評価等に適用の可能性があるとの結果が得られた。本講演ではその概要を報告する。

ネットワーキング交流会(17:00～19:00)

実施会場：SDアベニューホテル Chitlada

日頃の安全衛生上の課題等について安全衛生の専門家や他社の安全担当者等と交流し、ご自身の安全衛生分野のネットワーク構築や自社の安全衛生活動の活性化に役立てて下さい(参加はオプション)。また、本大会に於いて活動事例を発表いただいた事業場11社に対し、安全奨励賞を授与します。



2日目【12月19日(金)】スケジュール及び発表概要



事例発表 ⑥ 8:45～9:05



(株) 大林組

「世界がまだ見ぬボールパークをつくろう～ 北海道ボールパークの街づくりと建設～」

常務執行役員 大阪本店建築事業部長
竹中 秀文 氏

世界がまだ見ぬボールパークの建設について、施主、行政、施工者が一体となったプロジェクトの開始から竣工までのストーリーとスタジアム内部のトピックスを紹介する。また、厳冬期でも工事を止めることなく取り組んだ安全管理内容、竣工にたどり着いたプロジェクトの足跡やファイターズ選手の新球場建設に対する熱い思いについて報告する。



基調講演③ 9:10～9:55

「失敗情報をデータベースに集め、危険予知に役立てる」

失敗学会 副会長・事務局長
東京大学環境安全研究センター 特任研究員 飯野 謙次 氏

失敗学会ホームページでは1,000件以上の産業界事故や失敗について情報、分析を集め公開している。過去の事故や災害に学ぶことは失敗に対する感性を高め、その軽減には重要である。そして気を付けようなどといった精神論ではなく、失敗しないための仕組みを考えることにもつながる。この失敗知識データベースは、原因、経過、結果を抽象化して短い言葉で表現している。しかし、これから何かをしようとするとき、実行者は失敗の原因や経過については考えが及ばず、何をするかという意図しかない。失敗学会では過去の事例と今後集積する事例について、実行者の「意図」を紐づけ、意図検索を実現する。これは危険予知活動にも大いに役立つ。



事例発表 ⑦ 10:00～10:20

DAIFUKU

Daifuku (Thailand) Limited.

(本社：(株)ダイフク)

「労働安全衛生および安全管理のマネジメントの向上」

安全管理部 次長 Ms. Anchalee Kongchankit

安全活動を進める中で直面した課題や、それを通じて得られた改善の機会について説明する。主に、目視による重量評価、リスクの写真撮影、安全の日の実施、その他関連する安全衛生活動など、当社が実施している主な活動を紹介する。

----- コーヒーブレイク -----
(10:20～10:40)



特別報告① 10:40～11:10

「タイにおける持続可能な安全文化の構築について ～法改正、リスクアセスメント、ゼロ災に向けた協力を通して～」

SHAWPAT(タイ労働安全衛生促進協会)
Dr. Chaityuth Chavalitnithikul

本発表では、Safety Thailand政策と労働安全衛生環境法B.E.2554の下、2024年リスクアセスメント規制を取り入れた強固な安全文化構築へのアプローチを探る。日本やJISHAによるKYT研修やゼロ災キャンペーンの継続的な支援により、タイでは現在、省令告示に規定された職場のリスクアセスメントを実施することが雇用主に義務付けられている。このような法的措置は、国際的な協力とともに、持続可能で人間中心の安全文化に向けた真の進歩を促している。



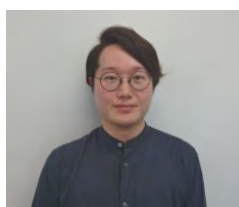
特別報告② 11:15～11:30

「ゼロ災運動の概要と海外拠点での導入のために」

中央労働災害防止協会 教育ゼロ災推進部
ゼロ災推進課 係長 杉山 大地



労働災害により「誰一人ケガをさせない、病気にさせない」という人間尊重の理念を掲げてゼロ災運動は1973年にスタートし、今日まで受け継がれてきた。ゼロ災運動の概要とその理念の実現のために実践されてきたKYT等の手法を紹介する。また、海外拠点でも導入しやすい手法として指差し呼称を「いつ、どこで、どのように」行えばよいか解説を交えて伝える。



特別報告③ 11:30～11:45

「ストレスチェック制度の背景と事業場外資源 としての中災防の活用報告」

中央労働災害防止協会 関東安全衛生サービスセンター
事務係長 亀井 隆史

日本では過労死・過労自殺が深刻な社会問題となっている。高度経済成長期からの長時間労働の常態化、バブル崩壊後の労働環境の悪化により、職場における精神的負荷が増大した。この状況を受け、2015年にストレスチェック制度が開始された。同制度は①労働者の心の不調の早期発見、②働きやすい職場環境づくり、③メンタルヘルス不調の予防を目的とし、常時雇用する労働者が50人以上の事業場で年1回の実施が義務付けられている。本報告では、中央労働災害防止協会が事業場に対して実施したストレスチェック支援の活用事例について報告する。



事例発表 ⑧ 11:50～12:10（オンデマンド配信）



(一社)日本自動車工業会
安全衛生分科会

「海外拠点との安全衛生の連携強化」

スズキ(株) 人事部 安全衛生課 課長
渡辺 友一郎 氏

当研究会は、西日本を主な生産拠点とする自動車メーカー7社で構成し、自動車産業における安全衛生管理水準の向上に貢献すべく共同研究に取り組んでいる。現在、私たちが働く自動車業界は各社それぞれが世界に進出し、グローバル化が進んでおり、海外拠点の安全衛生管理の重要性がますます高まってきている。本発表では海外拠点との連携強化、レベルアップするための各社の取り組みについて報告する。

昼食休憩

(12:10～13:15)



一般報告 13:15～13:35

日本だけでなく、世界へ広まる内田クレペリン検査 (クレペリン検査の事例(BTS))

(株)日本・精神技術研究所 代表取締役社長 内田 桃人 氏



日本の鉄道は安全性と正確性で世界的に知られているが、それは事故を起こしやすい特性を持つ人を見極め、適切に配置する取り組みに支えられている。内田クレペリン検査はその代表例で、国土交通省令により実施が義務付けられている。この検査を2006年に導入し、約20年にわたり活用し続けてきたのが、タイ初の都市鉄道であるBTSで、本日はBTSのHRマネージャーをお招きし、AI社会においても人間の判断が不可欠な領域で、どのように人材を育成・配置しているのか、現状を伺う。



事例発表 ⑨ 13:40～14:00



Teijin Cord (Thailand) Co., Ltd.
(本社：帝人フロンティア(株))

持続可能な安全・環境・労働衛生文化について

統括部長、環境労働安全部長
Mr.Noppadol Bumroongkiat

Teijin Cord (Thailand) Co., Ltd.の持続可能な安全・環境・労働衛生文化の創造に向けた活動は以下の3本柱で構成されています。

1. 5S 24時間活動
2. ヒヤリハット・危険予知 (KY)
3. 24/7安全 (常時安全)



事例発表 ⑩ 14:05～14:25



Thai Nippon Steel Engineering & Construction
Corporation Ltd.

(本社：日鉄エンジニアリング(株))

「職場におけるメンタルヘルスとウェル
ビーイングの重要性について」

HSE部門 統括部長
Mr.Jeerawat Charoenpol

メンタルヘルスとウェルビーイングは、生産性が高く、ポジティブかつ持続可能な職場環境にとって極めて重要である。本発表では、わが社が実践する職場でのメンタル・ウェルビーイングを促進するための主な活動をご紹介します。



特別発表④ 14:30～14:50

「倉庫作業におけるエルゴノミクス」

タマサート大学 公衆衛生学部 講師
Dr.Teeraphun Kaewdok



倉庫作業は、職業病、特に筋骨格系障害（MSD）の危険な仕事の一つである。本研究は、サムットプラカン州の倉庫労働者におけるエルゴノミクス曝露のMSDsリスクを評価することを目的とした。本研究は2つのフェーズから構成され、第1段階は危険の特定と人間工学的リスク評価のための横断的記述研究、第2段階は人間工学的改善、試験、評価段階である。本発表ではこれらの評価によって得られた結果などをご紹介します。

----- コーヒーブレイク -----
(14:55～15:35)

パネルディスカッション(15:35～16:35)

ビジネスと人権の観点から見たウェルビーイングの向上を目指す安全衛生分野における日タイの連携協力と未来について参加者と共に考えます。

(ファシリテーター)

厚生労働省 大臣官房 国際労働交渉官 奥村 英輝 氏



(パネリスト)

国際労働機関（ILO）専門家 Mr.Phattaraset Ardchawuthikulawong



産業医科大学 産業生態科学研究所産業精神保健学 教授 江口 尚 氏



タマサート大学 公衆衛生学部 准教授 Dr.Chalermchai Chaikittiporn



最新の安全衛生保護具等を取りそろえた展示会を併設しております(入場無料)。



※出展企業

- No.1 RIKEN KEIKI CO.,LTD.
理研計器(株)
(産業用ガス検知警報器・酸素濃度測定器)
- No.2 AITOZ Corp.
アイトス(株) (ワークシューズ)
- No.3 THAMMASAT UNIVERSITY
タマサート大学公衆衛生学部(大学紹介)
- No.4 KOMYO RIKAGAKU KOGYO K.K.
光明理化学工業(株) (ガス検知管等)
- No.5 Pi PHOTONICS, INC.
パイフォニクス(株) (光パターン形成LED照明)
- No.6 SIMON CORPORATION
(株)シモン(JIS・TIS規格安全靴)
- No.7 ASIA CREATE CO.,LTD.
アジアクリエイト(株) (安全体感装置)
- No.8 NEW COSMOS ELECTRIC CO.,LTD.
新コスモス電機(株) (ガス検知器)
- No.9 SHIGEMATSU WORKS CO., LTD.
(株)重松製作所(防じん・防毒マスク)

- No.10 TSUMIKISEISAKU CO.,LTD.
(株)積木製作(安全体感VRトレーニング)
- No.11 PUPURU ASIA CO.,LTD.
ププルアジア(安全体感VRトレーニング)
- No.12 SHUTOKO MAINTENANCE WEST TOKYO CO.,LTD.
首都高メンテナンス西東京(株) (安全まんが、LEDライト)
- No.13 KOKEN LTD.
興研(株) (防じん・防毒マスク)
- No.14 NISSEIKEN,INC.
(株)日本・精神技術研究所(内田クレペリン検査)
- No.15 KURABO INDUSTRIES LTD.
クラボウ(難燃素材、制電素材)
- No.16 TOKYO METROPOLITAN SMALL AND MEDIUM ENTERPRISE SUPPORT CENTER
(公財) 東京都中小企業振興公社
(経営相談、ビジネスマッチング等)
- TOKYO METROPOLITAN INDUSTRIAL TECHNOLOGY RESEARCH INSTITUTE
(地独) 東京都立産業技術研究センター
(漏電監視装置他等)



公益財団法人
法 人

東京都中小企業振興公社



ビジネス
マッチング

経営課題
解決支援

現地経営相談

セミナー
商談会

東京都の公的機関がタイ現地ビジネスをサポート

技術相談

タイ産業の
情報発信

人材育成
技術セミナー

産業交流
ラボツアー



地方独立行政法人

東京都立産業技術研究センター

TOKYO METROPOLITAN INDUSTRIAL TECHNOLOGY RESEARCH INSTITUTE



Address : 20th Floor Interchange21 Bldg, 399, Sukhumvit Road, Klongtoey, Nua, Wattana, Bangkok 10110

THAMMASAT UNIVERSITY
FACULTY OF PUBLIC HEALTH

International Programs



Occupational and
Environmental Health

THAMMASAT UNIVERSITY
FACULTY OF PUBLIC HEALTH

International Programs



Global Health



FPH Thammasat International

Occupational and Environmental Health "Building Safe & Healthy Work & Living Environment"

About

The PhD-MSc in Occupational and Environmental Health Programs (International Programs) are dedicated postgraduate academic and professional programs designed to respond nowadays extended requirements to learn about development of science and technologies for leading integration of various knowledge and learnings scientific, technical competencies, environmental and public health aspects into the 21st century living adaptability with healthy and safety over to adding knowledge of occupational and environmental problems, prevention, solution and other related challenges.

Global Health "Leaders for an Equitable World"

About

At the Faculty of Public Health's Global Health Program, we consider inequity to be a driving determinant of social injustice. We regard the unfair distribution of the benefits and burdens of society to be a result of inequitable power relations, and unequal access to political, economic and cultural rights and opportunities. We believe that social justice is necessary to achieve health and wellbeing - essential freedoms, responsibilities and entitlements for survival, livelihood, and dignity in order to achieve a more just and equitable society.

For more information,

please contact:
Email: ojp-admissions@fph.tu.ac.th

Programs Key Feature

- MSc full-time 2-year program
- PhD full-time 3-year program

Study plan

We gladly provide our students with diverse knowledge in occupational and environmental sciences and public health as well as academic skills seminars including active learning and problem-based learning.

For more information,

please contact:
Email: edu.inter@fph.tu.ac.th

Programs Key Feature

Master of Public Health in Global Health

- Duration:** Full-time, with two options:
 - 1-year study track: Independent Study
 - 2-year study track: Thesis
- Degree:** MPH in Global Health
- All courses are taught in English
- Relevant working experience is preferred
- Tuition Fee:** Approx. THB 17,500 / semester

Doctor of Philosophy in Global Health

- Major:** Global Health
- Minor:** Environmental Science or Occupational Health Science
- Duration:** 3-year full-time program
- Degree:** Ph.D. in Global Health
- Tuition Fee:** Approx. USD 5,240 (Thai student) and USD 6,000 (International student) per academic year

MORE DETAILS

Master of Science in Occupational and Environmental Health (M.Sc. OEH)



Doctor of Philosophy in Occupational and Environmental Health (Ph.D. OEH)
Program Highlights



MORE DETAILS

MPH - Global Health
(Master of Public Health in Global Health)



PhD - Global Health
(Doctor of Philosophy in Global Health)



見えない**危険**を、見える**安心**に。

定置型 爆発事故防止対策に

高機能[Fセンサ]搭載の
ハイスpek機種



可燃性ガス検知器の
スタンダード



信号変換器付ガス検知部
Model: SD-3

スマートタイプガス検知部
Model: SD-1

個人携帯型 作業者の安全管理に

質量わずか100g
小型・軽量なため
作業を妨げません



- 世界最小・最軽量クラス
- 新型Rセンサ搭載で高性能
- センサ3年保証

胸ポケット装着イメージ



ヘルメット装着イメージ



ポータブルガスモニター
Model: GX-3R



RKH Engineering & Service (Thailand) Co.,Ltd.

No.11 Room. M7 Soi Sukhumvit 70 (Sawetwit),
Sukhumvit Rd., Bang Na Nuea, Bang Na, Bangkok 10260
TEL 02-070-1021 FAX 02-070-1021
<https://rkh-th.com/>



RIKEN KEIKI Co.,Ltd.



色々な作業環境に対応



広視野
TW099



大きめサイズ
TW11C



カラー7種類
TW01SC



コンパクト設計
TW02S



装着感の良い接顔体
TW08SFII

TWは、ひとつの面体で、取替え式防じんマスクと直結式小型防毒マスクの
国家検定に合格しています。このため、作業環境に応じてフィルタ又は吸収缶の
どちらも取付けられるので、色々な作業環境に対応できます。

詳細については、QRコードを
スキャンしてください。
面体とフィルタ又は吸収缶は、
日本の規格を基準にしています。



株式会社 重松製作所
SHIGEMATSU WORKS CO., LTD.
www.sts-japan.com/asia

タイ国総代理店
Exclusive distributor
in Thailand



PSR INTER (THAILAND) CO.,LTD
www.pands.co.th info@pands.co.th
02-998-9090 Line OA: @PSRINTER

フィット性能で 選ぶなら。

興研オリジナル

フィットを向上させる3次元構造のFFリップ

サカサ式

ハイテックシリーズ

顔のカーブに合わせたしなやかなFFリップは、
密着性が高く、顔の動きに追随しやすい設計のため、
顔に自然になじんで「ぴったりフィット」を実現します。



マンガで 再発防止！

－ 事故事例から学ぶ原因と対策 －

事故の概要・原因・安全対策をそれぞれ1例ずつ

「マンガ」で紹介しています。

工事前に、全員で復習することで、
類似事故の防止に役立てています。



電子ブックでも活用・販売しています

東京の大動脈「首都高速道路」の維持管理を担う私たちは、最高の「安全」「品質」「技術」をめざして

他にもさまざまな製品を開発しています！



首都高メンテナンス西東京株式会社

東京都中央区日本橋小伝馬町1-5 PMO日本橋江戸通5階

TEL.03-5623-6888

<https://www.shutoko-mw.jp/>

北川式ガス検知管

検知管とは、測定ガスと鋭敏に反応する検知剤をガラス管に充填したものです。ガス採取器を用いて検知管内に試料空気を通気すると、化学反応により検知剤が変色します。測定ガスの濃度と変色長さとの関係は、濃度目盛として検知管に印刷してあるので、測定ガスの濃度を簡単に求めることができます。対象ガスで約250種類、型式別には約400種類の検知管を揃えています。

ガス検知管



作業環境測定

工程管理

リスクアセスメント

ガス採取器
AP-20

エアースAMPLINGポンプ

エアースAMPLING
リングポンプ

ASP-1200
(10-1200mL/min)

高感度ガス検知管、
捕集管、液体捕集用

個人サンプUNG
ポンプ

ASP-250T
(10-250mL/min)

個人暴露測定用

ダイレクトサンプ
リングポンプ

DSP-550T
(50-550mL/min)

捕集用バッグに試料を
直接捕集



活性炭捕集管、シリカゲル捕集管、DNPHアク
ティバカートリッジを取り揃えております。

気流検査装置 スモークジェネレーター SG-1

換気・吸排気・ドラフト・ダクト等の吸引力、気流の方向と速
さの確認、アスベスト解体現場等の陰圧状態の確認に白煙で可
視化。



酸素、硫化水素測定器

酸素欠乏症、硫化水素中毒の防止に

酸素

装着形/拡散式

OPA-6000E

携帯形/吸引式

OM-600E



酸素・硫化水素

装着形/拡散式

MMP-12P

携帯形/吸引式

MD-612E



光で安心・安全な職場環境を作る ホロライト・シリーズ



MADE IN JAPAN



点円環型の光でクレーン下の
立入禁止エリアを明示



直線型の光で作業範囲や
危険エリアを明示



シモン78年 タイシモン38年 歴史と革新が、安全靴の未来を創る

ประสบการณ์ 78 ปี ของ ซิมอน และ 38 ปี ไทยซิมอน
สมผสานประวัติศาสตร์และนวัตกรรม
ที่ร่วมสร้างอนาคตของรองเท้านิรภัย

SL12RE

Made in Japan



シモン技術を集結した
「ハイレベル」な
安全性能と快適性

สมรรถนะด้านความปลอดภัย
และความสะดวกสบาย
ที่รวบรวมเทคโนโลยีที่มีมาตรฐานสูง
ของซิมอนไว้อย่างครบถ้วน



タイ国内で
製造される安全靴

รองเท้านิรภัยที่ผลิต
ในประเทศไทย

TS7011 BLACK



タイシモン
ไทยซิมอน

1988年に設立。タイシモンでは、タイ工業規格並びに日本産業規格に基づいて製造された商品をタイ国内市場をはじめASEAN周辺諸国へ販売しています。シモングループの一員としてタイシモンにおいても、品質とともに環境・安全を重視する方針に沿って事業を運営しており、2000年11月には「環境と安全に力を注いだ事業所」として「クリーンアンドセフティ賞」を受賞しました。

ก่อตั้งในปี 1988 บริษัท ไทยซิมอนผลิตสินค้าตามมาตรฐานอุตสาหกรรมของไทยและมาตรฐานอุตสาหกรรมของญี่ปุ่น และจัดจำหน่ายทั้งในตลาดในประเทศไทย รวมถึงประเทศอื่นๆ ในภูมิภาคอาเซียน
ในฐานะเป็นส่วนหนึ่งของซิมอนกรุ๊ป ไทยซิมอนจึงดำเนินธุรกิจตามนโยบายที่ให้ความสำคัญต่อสิ่งแวดล้อม และความปลอดภัยควบคู่ไปกับคุณภาพ และเดือนพฤศจิกายน ในปี 2000 บริษัทได้รับรางวัล Clean and safety award ในฐานะสถานที่ประกอบการที่มุ่งมั่นด้านสิ่งแวดล้อมและความปลอดภัย

お問い合わせ先 ติดต่อเรา

タイシモンセフティンダストリーズ株式会社

บริษัท ไทยซิมอนเซฟตี้อินดัสตรีส์ จำกัด

Tel: 02-3240060-61, 02-3240075-76

Fax: 02-3240356, 02-3240077

<http://www.simon.co.th/>